

巻図の見とる

[illegible]

実在する惣兵の甲冑ではありません。
フロイス日本史の記述を模した兜に、室町幕末期の趣向を取り入れた覆面を描いた想像図です。

[illegible]

福王 和田惟政の変わり兜



奥にフロイスと交わった惟政なら西洋肖像画についても聞いていたかも知れないと想像し、ヨーロッパ諸侯の肖像画を意識した姿勢とした。特別な品を献上に預いた自信と風格備わる勇敢な武人像として相応しく思える。

最後に惟政が当時の様に呼ばれていたかについて

「Yauitiga Necandino」(ワタ・インガ・ノカミド)

「Yauitiga」(ワタ・イン)

「Necandino」(ワタ・インガ・ノカミド)

先程のフロイスの報告書から写された肖像画によればこのように聞こえらしい。当時の日本語発音の現代との

違いが興味深い。だが、フロイスの直筆による肖像は失われていてフロイス自身どの様に呼んだのかは残念な

今後、もしまたドラマなどで局長と義昭による幕府再興が書場を込め彼の名を呼んでいた事だろう。

ピロド帽を被り、黒髪と戦馬を駆ける有能な惟政の姿を是非見たいものである。その時は珍重していた緋の

帷政を描くに当たり合和三年六月には白井河原の合戦場を訪ね、茨木市立文化財資料館では惟政墓塔にご案内

いただきました。また高槻市立しろあ歴史館では惟政関連の資料を数多くご提供下さりました。お忙しい中お

時間を割いてご対応下さった両館に感謝申し上げます。

福王 和田惟政の変わり時